

19. 芸術地域デザイン学部・地域デザイン研究科の特色・強み

—平成31年 学部(研究科)長から—



TOPページ

教育学部・学校教育学研究科

教育学部 《H28.4再編》
学校教育課程

幼小連携教育コース
小中連携教育コース

学校教育学研究科 (教職大学院)

《H28.4再編・設置》
◇教育実践探求専攻
授業実践探究コース
子ども支援探究コース
教育経営探究コース

附属施設

教育実践総合センター 《H 5.4改組》
小学校 《S24.5設置》
中学校 《S24.5設置》
特別支援学校 《S53.4設置》
幼稚園 《S45.4設置》

発達障害等への支援力養成と医学・教育学クロスカリキュラムの開発など
特色・強み⇒

学部HP
<http://it3.pd.saga-u.ac.jp/>

芸術地域デザイン学部

芸術地域デザイン学部 《H28.4再編・設置》

芸術地域デザイン学科
芸術表現コース
地域デザインコース

地域デザイン研究科

地域デザイン研究科 《H28.4再編・設置》

修士
◇地域デザイン専攻
芸術デザインコース 地域マネジメントコース

美術・工芸の歴史、窯業人材育成、地域連携など
特色・強み⇒

学部HP
<http://www.art.saga-u.ac.jp/>

経済学部

芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成
Category:学部、教育

「手わざ」と「本物・フィールド」を軸とした教育
Category:学部、教育

有田キャンパスにおける窯業人材の育成
Category:学部、教育、研究

アクティブラーニングに基づくコア科目
Category:学部、教育

経済学・経営学・法学を統合化した独自の体系的カリキュラムによる教育など
特色・強み⇒

学部HP
<http://www.eco.saga-u.ac.jp/>

医学部 医学系研究科

特色・強み

地域に必要な実践力と発信力を身につける教育と研究
Category:研究科、教育、研究

先進的な医学教育、新たな人工関節の研究開発など
特色・強み⇒

国際交流活動を行う学生組織、工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀など
特色・強み⇒

附属病院 《S56.10開院》
附属施設
地域医療科学教育研究センター 《H15先導

寄附
人工関節学 《H17.1》
地域医療支援学 《H22.4~》
肝疾患医療支援学 《H24.1~》
先端心臓病学 《H25.1~》
先進外傷治療学 《H25.1~》
心不全治療学 《H26.4~》
臓器再生医工学 《H27.4~》
臓器関連情報 《H27.4~》

◇システム創成科学
電子情報システム学
生産物質科学コース
社会循環システム学
先端融合工学コース

特色・強み⇒

学部HP
<http://www.med.saga-u.ac.jp/>

工学部

特色・強み

メディアコンテンツ教育設備

大学を活用した文化芸術推進事業

特色・強み⇒

◇循環物質化学
◇機械システム工学
◇電気電子工学

◇システム創成科学
電子情報システム学
生産物質科学コース
社会循環システム学
先端融合工学コース

◇農水圏資源環境科学

特色・強み⇒

学部HP
<http://www.se.saga-u.ac.jp/ug/>

2019' Key-Word

有田キャンパスにおける窯業人材の育成

アクティブラーニングに基づくコア科目

メディアコンテンツ教育設備

大学を活用した文化芸術推進事業

地域に必要な実践力と発信力を身につける教育と研究

地域に必要な実践力と発信力

大学を活用した文化芸術推進事業

農業版MOT教育、アグリ創生教育研究センターなど

特色強み⇒

学部HP
<http://www.ag.saga-u.ac.jp/>

芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成

Category: 学部、教育

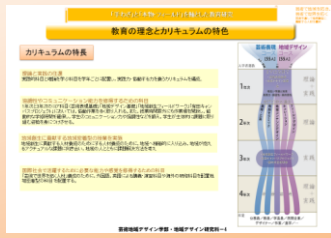
平成28年度4月に芸術地域デザイン学部を開設し、芸術を通して地域創生に貢献する人材、地域活性化や国際化に貢献する感性豊かな人材を育成する。



地域創生に貢献する地域密着型の授業

Category: 学部、教育

実践的科目と理論を学ぶ科目を学年ごとに配置し、実践力・協働する力を養うカリキュラムを編成。地域創生に貢献する人材養成のために、地域へ積極的に入り込み、地域が抱えるアクチュアルな課題に向き合い、地域の人とともに課題解決方法を考える地域密着型の授業を配置。



アクティブラーニングに基づくコア科目

Category: 学部、教育

1年次に、芸術表現と地域デザインの理論と実践の導入ー基礎となる科目として、「芸術表現基礎」・「地域デザイン基礎」を配置。2年次には、「芸術文化・地域創生論」、3年次「有田キャンパスプロジェクト」「地域創生フィールドワーク」「国内外芸術研修」の中で実践力と地域デザインの応用力をつける。



有田キャンパスにおける窯業人材の育成

Category: 学部、教育・研究

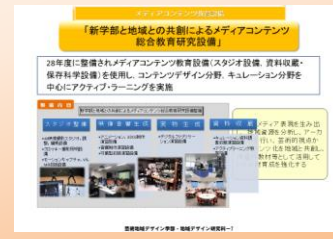
高い専門性を有し、多様な分野と協働できる窯業人材の養成、および、地域に基づく視点とともに、グローバルな視野から陶磁器製作を考えることができる人材の養成を目的として、29年度より、有田キャンパスにおいて、有田セラミック分野を中心とした窯業人材育成を開始する。



「新学部と地域との共創によるメディアコンテンツ総合教育研究設備」

Category: 学部、教育・研究

平成28年度に整備されメディアコンテンツ教育設備（スタジオ設備、資料収集・保存科学設備）を使用し、コンテンツデザイン分野、キュレーション分野を中心にアクティブ・ラーニングを実施。



地域、学内外との連携による各種事業・共同研究

Category: 学部、研究科、教育・研究

学生、大学院生を実施主体とした制作、ワークショップ、展示等の各種事業。佐賀県、東京文化財研究所等との共同による研究や事業を実施。



SMAART 芸術を通じた地域創生人材の育成

Category: 社会貢献、教育・研究

文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」に採択。学部の専門性を生かし、肥前窯業圏の地域文化を新たな視点で発見・発掘しながら、学外、地域における芸術を通じた地域創生人材を育成。



地域に必要とされる実践力と発信力を身につける教育と研究

Category: 研究科、教育 研究

芸術、フィールドデザイン、経済・経営を専門的・学際的に研究することにより、芸術文化と経済経営の複眼的視点から地域創生をリードできる高度な知識と実践的リサーチ能力をもつ自律した専門的職業人の養成。



平成28年度4月創設 芸術地域デザイン学部

芸術表現コース(55名)

既成概念にとらわれることなく社会に対して高い問題意識を持ち、芸術を通して地域や世界と共有される新たな芸術の価値の創造に貢献する人材養成

美術・工芸分野

「手わざ」を基礎にして、描く、作るということを通じたオリジナリティのある表現の方法を学びます

有田セラミック分野

表現技術、科学技術、経営戦略を融合させ、国内最高の環境の中で国際的な陶磁教育とセラミック研究を行います

地域デザインコース(55名)

地域の有形無形の遺産や資料・資源をキュレーションし、人、もの、場と繋げることによって、地域をデザインしていく人材の養成

キュレーション分野

文化的歴史的資源や多様なアート活動をマネジメントするための学芸員・キュレーターの養成を行います。

フィールドデザイン分野

フィールドとアートを地域横断的な視点からデザインする力を持ち、社会で実践的に活躍できる人材を育成します。

地域コンテンツデザイン分野

豊かな発想力と表現力をベースに、地域の文化資源に関わるコンテンツをデザインできる人を育てます。

取得できる資格：中学校教諭一種(美術) 高等学校教諭一種(美術、工芸) 学芸員

取得できる資格：学芸員

「手わざ」

実践的な能力を修得。テクノロジーとともに「手わざ」を重視。
「手わざ」を土台とした伝統と革新のバランスを教育理念とする。



「本物・フィールド」

「本物・フィールド」に根ざした教育
佐賀県内のフィールドに存在する豊富な文化・歴史・地理的資源の活用、フィールドでの創作活動によって、本物の価値をもとに、地域で実践する能力を養う。



教育の理念とカリキュラムの特色

カリキュラムの特長

理論と実践の往還

実践的科目と理論を学ぶ科目を学年ごとに配置し、実践力・協働する力を養うカリキュラムを編成。

協調性やコミュニケーション能力を修得するための科目

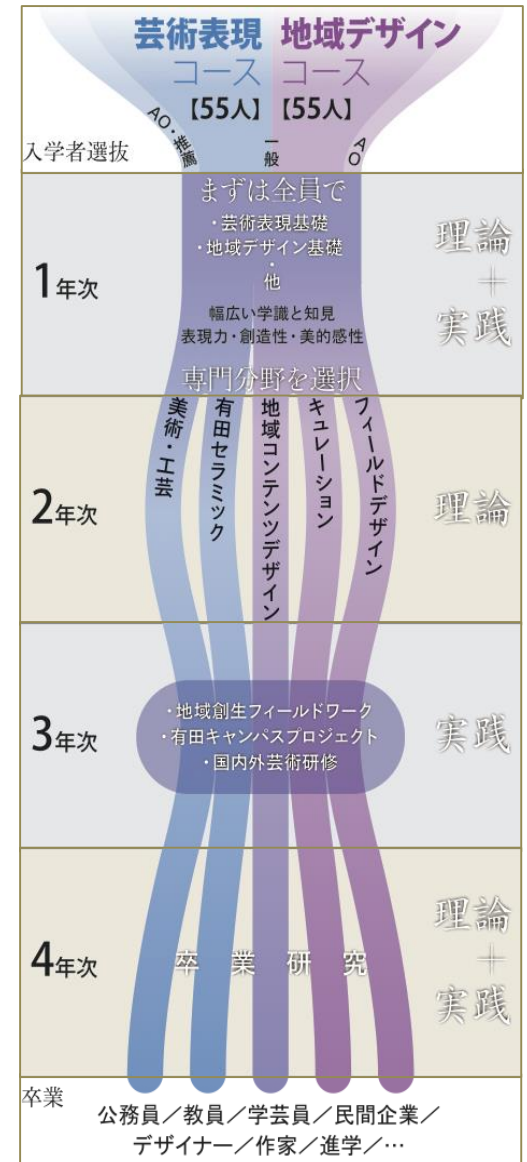
1年次と3年次のコア科目(芸術表現基礎)「地域デザイン基礎」「地域創生フィールドワーク」「有田キャンパスプロジェクト」においては、協働作業を多く取り入れる。また、授業時間外にも作業場を開放し、能動的な学修時間を確保し、学生のコミュニケーション力や協調性などを鍛え、学生が主体的に課題に取り組む姿勢を身につけさせる。

地域創生に貢献する地域密着型の授業を実施

地域創生に貢献する人材養成のためにする人材養成のために、地域へ積極的に入り込み、地域が抱えるアクチュアルな課題に向き合い、地域の人とともに課題解決方法を考える地域密着型の授業を配置。

国際社会で活躍するために必要な能力や感覚を修得するための科目

「芸術で世界を拓く人材」養成のために、外国語、英語による講義・演習科目や海外の研修科目を配置地域密着型の科目を配置。



初年次「共通基礎」から、2年次の専門教育へ

1年次(共通基礎)
「芸術表現基礎」
「地域デザイン基礎」

1年次に、芸術表現と地域デザインの理論と実践の導入ー基礎となる科目として、学生全員が週2回3コマ通して行うコア科目「芸術表現基礎」及び「地域デザイン基礎」を配置

2年次
分野別の専門教育
「芸術文化・地域創生論」

2コース5分野（美術・工芸 有田セラミック 地域コンテンツデザイン キュレーション フィールドデザイン）の専門教育 二本物・フィールドを軸とした教育
3年次コア科目への導入科目として、「芸術文化・地域創生論」を2年次後期に配置

3年次コア科目
「地域創生フィールドワーク」
「有田キャンパスプロジェクト」
「国内外芸術研究」

理論に基づくアクティブ・ラーニング
地域の課題解決に取り組む、地域密着型の授業
1～2年次で学んだ以上のことを、プロジェクトベースの実践的科目である3年次コア科目で実践的に学ぶことにより、地域デザインの応用力をつける



芸術表現基礎
地域デザイン基礎
授業風景

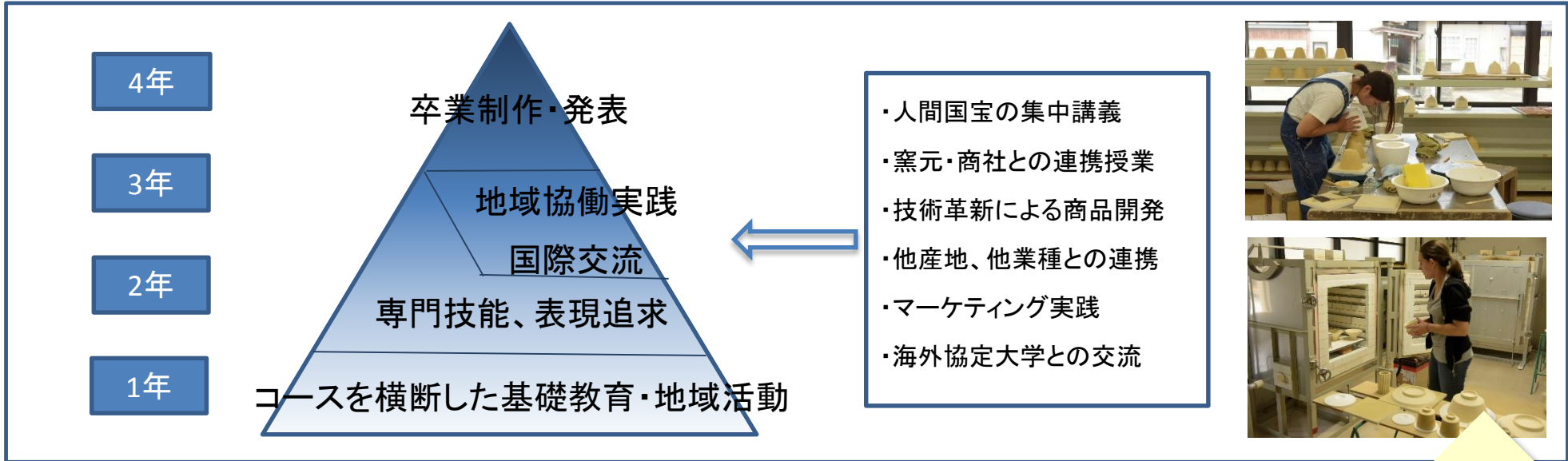
有田キャンパスにおける窯業人材の育成

芸術で地域を拓き、
芸術で世界を拓く
芸術を通して地域創生に
貢献する人材を養成します

芸術表現コース有田セラミック分野

平成29年4月
有田で開始

- ・高い専門性を有し、多様な分野と協働できる窯業人材の養成
- ・地域に基づく視点とともに、グローバルな視野から陶磁器製作を考えることができる人材の養成



肥前セラミック研究センターの設置

マネジメント部門	肥前陶磁器産業とまちづくりへの貢献	芸術と科学の融合による 「やきものイノベーション」の創出
サイエンス部門	やきものの科学的研究と新やきもの創製	
プロダクトデザイン・アート部門	多面的・総合的にやきものを創造しデザインする	

学内共同教育研究施設

「新学部と地域との共創によるメディアコンテンツ総合教育研究設備」

28年度に整備されメディアコンテンツ教育設備(スタジオ設備、資料収蔵・保存科学設備)を使用し、コンテンツデザイン分野、キュレーション分野を中心にアクティブ・ラーニングを実施

整備内容

新学部と地域との共創によるメディアコンテンツ総合教育研究設備整備

スタジオ整備

- 4K映像撮影スタジオ、調整、編集設備
- クロマキー撮影照明設備
- モーションキャプチャ、VR、MR収録設備



映像音響生成

- アニメーション、3DCG制作演習設備
- 音響制作演習設備
- 可搬型収録演習設備



実物生成

- デジタルファブリケーション演習設備



資料収蔵

- キュレーション資料調査収蔵演習設備
- アクティブラーニング教育設備



芸術的メディア表現を生み出し、地域資源を分析し、アーカイブスを行い、芸術的視点からコンテンツ化を地域と共創し、作品や教材等として活用していく人材育成を強化する

アート・イン・ホスピタル

医学部附属病院との連携プロジェクト。新設小児病棟で「ホスピタルアート」として空間設計、制作・施工を実施。

本学部教員（柳、土屋）によるプロジェクト管理のもと、両教員の開講授業受講者計14名が、小児病棟の廊下全域（約50M）とプレイルームを中心とした空間設計・制作・施工を担当。



仮想空想築城プロジェクト

佐賀県立名護屋城博物館における「バーチャル名護屋城の世界Ⅱ」で、本学部の学生を中心に「仮想空想築城プロジェクト」を制作、展示。仮想や空想の中で自由に築城を試み、3Dソフトウェアを駆使し制作を行った。



肥前さが幕末維新博覧会プレイベント

肥前さが幕末維新博覧会プレイベント“未来を照らす灯り”ランタンづくりワークショップで、学生が講師を務める。キット作成、絵付け道具等、学生たちが工夫・準備し、当日は、子どもたちに作品作りを指導。佐賀県と共同で行う事業で唐津、鳥栖、小城、嬉野で実施。



染織品を中心とする文化財の保存にかかる共同研究

(独法)東京文化財研究所と本学芸術地域デザイン学部は「染織品を中心とする文化財の保存にかかる共同研究」を締結。7月に文化庁の研究者による基調講演と国立文化財機構（東京文化財研究所・東京国立博物館・京都国立博物館）の研究者によるキックオフ集会を開催。



「FRONTLINE2017」

ドローン・VR・Unity・モーションキャプチャ・CG・アニメーション等、様々なメディアの第一線で活躍するクリエイターによるデモンストレーション・セミナー・講演・トークセッションなど、現場のリアルが体感できる5日間のイベントを開催。



発生の場

2016年度より「地域創生」の一環として、現代における芸術表現の可能性及び芸術の新しい楽しみ方を紹介する特別イベント「発生の場」企画を開催。

ゲストアーティストによるトークショー、パフォーマンス、展示に加えて、ゲストアーティストを迎え、研究科学生有志のプロデュースによる展覧会「バズリアル展」も同時開催。2018年に実施予定。



文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

佐賀大学芸術地域デザイン学部

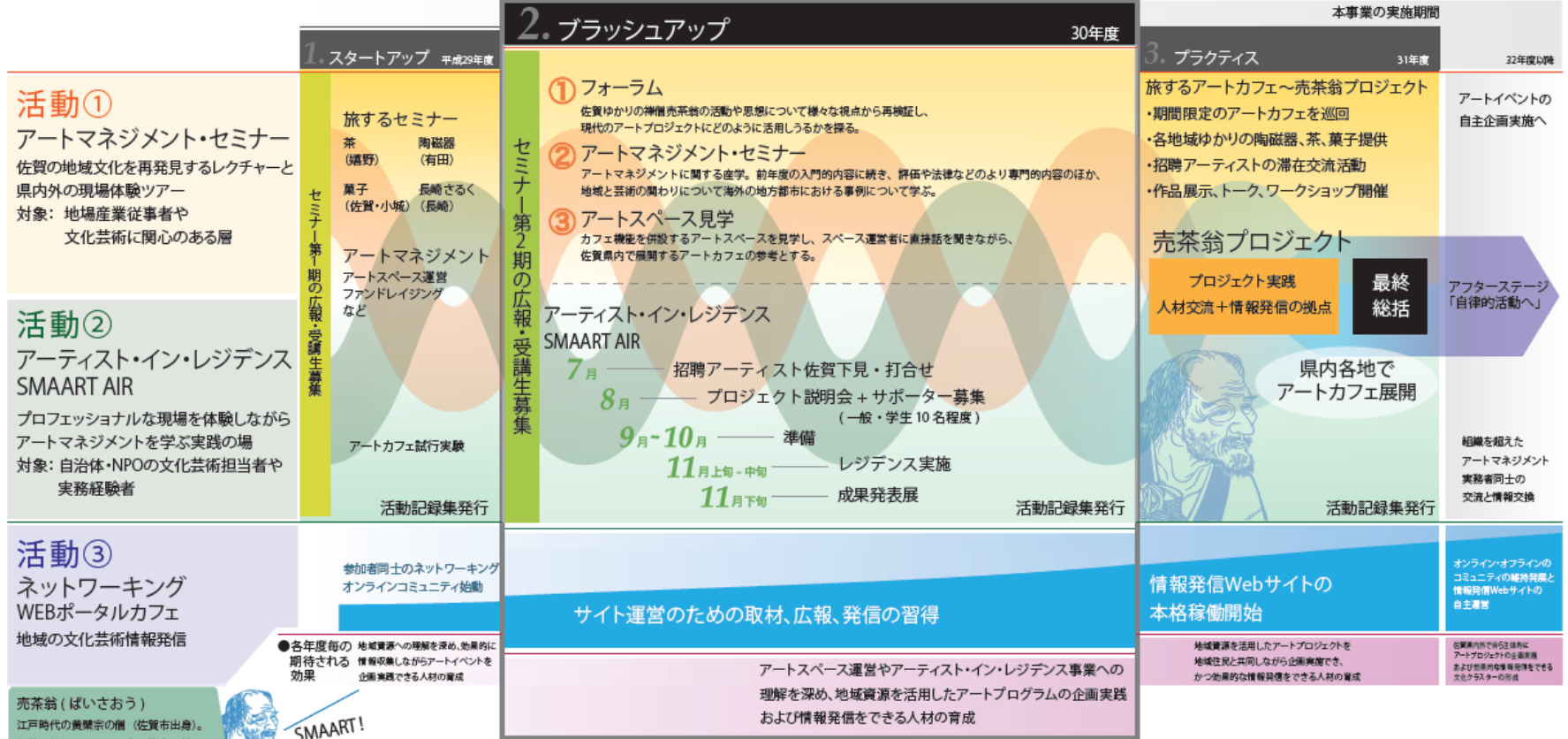
2017年12月

SMAART 佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート
Saga Mobile Academy of ART

芸術を通じた地域創生人材の育成
佐賀の地域資源をめぐるアートカフェとネットワークづくり

SMAART
基本コンセプト

1. 新設の芸術地域デザイン学部の専門性を活かし、佐賀の地域文化を新たな視点で発見・発掘しながら、芸術を通じた地域創生人材を育成する。
2. 陶磁器、茶、菓子などの地域文化とアーティスト・イン・レジデンスを組み合わせた「旅するアートカフェ」を企画・実践する。
3. 地域の人材交流と情報発信を促進するために、参加者のネットワーキングと、文化芸術情報発信のオンラインプラットフォームの構築と運営をおこなう。



売茶翁 (ばいさおう)
江戸時代の黄檗宗の僧 (佐賀市出身)。煎茶を普及させるとともに禅宗の教えを庶民に説き広めた放浪の茶人。

SMAART!

黄檗翁 (1673-1763)。佐賀市蓮花町。幼名は藤原。法名は月海で、渡辺後は黄檗外とも称した。黄檗宗の禅僧として各地を巡り、鼻崎で煎茶を学び60歳を過ぎまでから煎茶の興を始める。京都鴨川のほとり「白土町の茶寮」でもいわれる「賣茶翁」という異名を戴いた。自ら茶葉を採り、四季を帯びられる素晴らしい自然の中で茶を煎し飲むこともしばしば。身分を問わず、茶化を弘めようと自ら茶を分け、脚を踏まねばならぬ。その中の出来事などを物語りてきかせ、たちまち人々の評判になった。本事業では地域に禅精神をもちたつ第三者としてアーティストと煎茶職を結び合わせ、喫茶・茶文化から生まれる交流の場を創出しながらアートプロジェクトおよびアートマネジメント人材育成に取り組む。

実施場所	事業実施体制
講座実施拠点 佐賀大学 本庄キャンパス・有田キャンパス ほか	企画・運営 事務局【佐賀大学芸術地域デザイン学部】 ・教員(キュレーション・デザイン・経営学など) ・事務局スタッフ(企画運営・事務) 事業アドバイザー(学外実務者) ・アートマネジメント ・広告代理店 ・ローカルメディア 協力 佐賀県 公益財団法人 佐賀市文化振興財団 佐賀大学美術館 文化経済学会(日本)九州部会 後援 サガテレビ 佐賀新聞社 西日本新聞社

地域デザイン研究科(地域デザイン専攻)

地域デザイン研究科

芸術デザインコース

地域マネジメント コース

芸術に関する高度な専門知識と表現技能を修得し、それらを国際的に通用するレベルに発展させるとともに、マネジメントの能力とフィールドデザインの思考を身に付けることにより、幅広い視点から地域の文化芸術・産業の課題を見出し、芸術を通してその課題の解決ができる高度な専門的能力を持った人材を養成します



共通科目の授業の様子

大学院教養教育プログラム

研究・職業倫理特論、情報セキュリティ特論、データサイエンス特論、学術英語特論、ダイバーシティ・人権教育特論、キャリアデザイン特論、多文化共生理解、日本語・日本文化理解

専攻共通科目

異文化コミュニケーションa、地域創生とアート、地域創生キュレーション、地域創生と経済、地域創生とデータ分析、国際関係と地域創生、やきものによる地域創生、キュレーション特別研究Ⅰ、都市デザイン論、ヘリテージマネジメント論、都市空間論、インターンシップa・b

地域研究科目群

都市デザイン特別研究
都市空間特別研究
地域史特別研究Ⅰ・Ⅱ
地域経済分析研究
都市・交通経済分析研究
地域マネジメント史研究
地域雇用政策研究
政策評価研究
地域マーケティング研究
地域商業研究

マネジメント研究科目群

キュレーション特別研究Ⅱ
芸術文化遺産特別研究
アートマネジメント・プロデュース特別研究Ⅰ・Ⅱ
ヘリテージマネジメント特別研究
異文化コミュニケーションb
流通経済研究
マーケティング研究
財務会計研究
経営財務研究
企業法研究

芸術研究科目群

視覚デザイン特別研究a・b、情報デザイン特別研究a・b、彫刻素材技法特別研究、彫刻表現特別研究、西洋画素材技法特別研究、西洋画表現特別研究、日本画素材技法特別研究、日本画表現特別研究、漆・木工芸素材技法特別研究、漆・木工芸表現特別研究、窯芸素材技法特別研究、窯芸表現特別研究、空間表現特別研究a・b、映像デザイン特別研究a・b、コンテンツデザイン特別研究a・b、セラミックエンジニアリング特別研究、アートコンサベーション特別研究、美術史特別研究Ⅰ・Ⅱ

修士論文指導科目

特別演習Ⅰ、特別演習Ⅱ
課題研究Ⅰ、課題研究Ⅱ

空白

学内教職員へ

- ・大学情報を学内外へ発信するために、自由に利用してください。
- ・生原稿が必要な方は、広報室(内線8153)へご連絡ください。

学外者の方へ

- ・無断転載はお控えいただきますようお願いいたします。
- ・質問等がありましたら、佐賀大学広報室(TEL 0952-28-8153)へご連絡ください。

<http://www.saga-u.ac.jp/>



国立大学法人佐賀大学